

秋田竿燈まつり



西部地域上空から



土崎港曳山まつり



広 報

市民の生活情報誌

あきた

心落ち着く風景
ほっとする人の温もり
ワクワクする祭りの音色...

あーやっぱり
ふるさとって
いいなあ

裏面もご覧ください



外旭川の桜並木



千秋公園



あらや大川散歩道雪まつり

2 新春市長コラム

7 新庁舎 Coming Soon カミング・スーン まもみ

平成28年(2016)
1月1日号
No.1856

除排雪のお問い合わせは
コールセンターへ

☎(888)9400
午前8時～午後8時

広報あきたは、年末年始のお休みのため、通常より早く配布しています。
ご了承ください。



秋田市長
穂積 志もとむ

私たちが 今できることを

子どもたちのために 明るい未来のために

明けましておめでとうござい
ます。新たな年を迎え、みなさ
んいかがお過ごしでしょうか。

初夢に見ると縁起が良いもの
を表すことわざに、「一富士、二
鷹、三茄子」があります。「無事」
や「不死」につながることから、筆
頭にあげられている「富士」です
が、「日本一低い富士山」が秋田市
にあることをご存知ですか？

JR秋田駅から徒歩15分ほど
の距離にある東通明田の富士
山、通称「明田富士」は標高35m。

山頂には富士大権現
が祀られており、さ
らにその脇には、

「日本一」お墨付き
の標柱が、日本山岳
会秋田支部によつ
て立てられていま
す。古来より富士
は信仰の山であ

り、富士登山(富士
詣)は、健康や幸福、
繁栄などを祈る「行」
の側面を持つていた
ようです。

現在は、東通地区
連合町内会の加藤長
二郎会長らを中心
に、地域のみなさん
が手入れをされてい
るといふことで、加藤会長は「明
田富士を地域おこしに結びつけ
たい」とおっしゃっていました。

地元で親しまれてきたその山
の頂から、晴れた日に市街地を見
渡してみたいかがでしよう。
きつと、秋田市の新しい魅力を発
見できることと思います。

さて、平成28年の干支は「申
(猿)」ですが、こちらも富士と一
緒で、厄災や病気が「去る」とい
う意味から縁起が良いといわれ
ます。家族みんなが健康で元氣
に過ごせる、明るい一年にした
いものです。

健康で長生きを！

健康といえは、我が国は世界
がうらやむ長寿国で、男性80・50
歳、女性86・83歳が平均寿命とな

っています。実は、男性はおよ
そ9年間、女性は12年間の介護
を必要とする期間があるとされ
ています。

平均寿命が延びるのはうれし
いことですが、同時に、介護を必
要としないで自立した生活を送
ることができるよう「健康寿命」を延
ばしていくことが重要と考えて
います。そのためには、若い時
から定期的に健康診断を受け、
栄養バランスの取れた食事や適
度な運動、ストレスをためない
工夫など、日々の生活の中の
健康への心がけが大切です。そ
の必要性は理解していても、行
動に移し、継続していくのは容
易なことではありません。

私たちは、健康に生活してい
るうちは、ついそれが当たり前だ
と思ひ込み、何気なく過ごしてし
まいがちです。でもちよつと周
りに目を向けると、思いがけず、
若くして病気になるってしまふか
たや、事故・災害などで、突然、人
生や大切な家族を奪われてしま
うかたもいらつしやいます。

人の運命は誰にも分からない
ものですが、だからこそ今、自分
のため、家族のため、大切な人の
ために、自らの意思でできるこ
とをしつかりと実行しておきた

新雪まぶしい千秋公園



明田富士の登り口



健康づくりでみんなハッピー！

「はずむスポーツ部会」
第3回フロアカーリング交流大会



12月に行われたフロアカーリング交流大会で。60チーム、約210人の「老若男女」が参加しました

いものです。せっかくのお正月です。おいしい料理やお酒で英気を養い、日頃のストレスを発散しながら、家族が集まる機会を利用して、お互いのために、今年の健康づくりの目標を立ててみてはいかがでしょう。

人口減少問題 と向き合う

一昨年頃から、我が国の人口減少問題が大きく取り上げられています。国や地方を挙げて、この問題に取り組んでいるところですが、では、人口が減って何が問題となるのでしょうか。

秋田市の人口は、死亡数が出生数を上回る「自然減」に、高校、大学などの卒業に伴う進学や就職などによる「社会減」が重なり、人口減少局面を迎えています。国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、平成22年に約32万4千人だった人口が、30年後の平成52年には約23万5千人に減るとされています。この人口は、私が中学生だった昭和45年当時と同じぐらいですので、考え方がよければあまり大きな問題はないようにも思えます。

ところが、人口構造の面から見ると大きな違いがあります。当時わずか6%程度だった老年人口(65歳以上)の割合が、今後、年少人口(15歳未満)・生産年齢人口(15歳以上65歳未満)の減少と老年人口の増加により、平成52年には約42%に達すると予想されているのです。

生産年齢人口の割合の低下は、私たちの生活に直結するさまざまな問題を招くこととなります。中小企業や農家の後継者不足、需要低下などによる経済活動の縮小、医療や介護など社会保障制度の持続可能性の問題、地域コミュニティの弱体化による高齢者の孤立や冬の除雪の問題などです。

人口減少問題の本質は、人口構造が大きく変わってしまうことにあり、人口規模の縮小よりもはるかに大きな問題といえるのです。そのため、高齢者が支えられるだけでなく、社会の支え手としての役割を担い、活躍していただけるよう、エイジフレンドリーシテイ(高齢者にやさしい都市)のような取り組みをさらに進めることが必要と考えています。また、秋田市の場合、社会増減よりも自然増減の方が将来人口

に及ぼす影響が大きいという分析結果もあることから、人口減少対策としては、結婚・出産・子育て支援に重点を置いて推進したいと考えているところです。

子どもを生み 育てやすい社会に

秋田市の子どもの出生数は、昭和40年代をピークに減少が続き、一昨年には昭和45年の約半数にまで落ち込んでいます。背景には、結婚・出産に対する意識の変化や核家族化、非正規雇用の増加など、さまざまな社会的要因が合わさって、未婚化・晩婚化・晩産化が進んできたことがあります。

1人の女性が一生に生む子どもの数にあたる合計特殊出生率は、秋田市では平成26年は1.32でしたが、夫婦や独身のかたが理想とする子どもの数などから算出した希望出生率は1.83といわれています。

結婚・出産は、もちろん個人の自由に属しますが、「子どもを持ちたい」と望んだときに、それをかなえられる環境づくりが今求められています。

(次のページへ)



ポートタワーセリオン展望室のカップルベンチが2人の素敵な時を演出

切れ目のない 子育て支援

こうした中、市では、就労、出会い、結婚、出産、そして子育てと、ライフステージに合わせた施策を切れ目なく展開していきたいと考えています。その目玉事業として検討しているのが「第2子保育料無償化」です。

これは、小学6年生以下のお子さんがいるご家庭で、今年4月2日以降に2人目が生まれた場合、その子の保育料を一定の所得制限のもと、無償化しようとするものです。県でも、第3子以降の子どもが生まれた場合に第2子以降の保育料を無償化する方針ですので、市の制度と併せて活用することで、より大きな効果が得られると考えています。

昨年度実施した市民意識調査では、影響が大きいと思う少子化の要因として、「子育て費用や教育費などの経済的負担」という回答が30歳代では最も多く、20歳代でも2番目に多くなりました。こうしたことも踏まえ、第1子を持つ世帯が、第2子以降も安心して生み育てることができるよう環境を整えるため、第2子の保育料を無償化したいと考えています。

また私自身、市長としての公約でもある保育所などの待機児童の解消は、平成27年度当初も待機児童ゼロとなり、5年連続で達成することができました。

引き続き、施設の整備を計画的に進めるとともに、保育士の

人材育成や保育士資格を持っていながら働いていない、いわゆる「潜在保育士」の掘り起こしなどにも取り組むことにしています。放課後児童対策も、児童館を市内全小学校校区に整備しましたが、来年度は、新たに3つの放課後児童クラブで105人の定員増を図りたいと考えています。

そのほか、就労については、雇用の質の向上の観点から、若年者の非正規雇用者を正社員に転換した企業を支援する「アンダー35正社員化促進事業」を進めることにしています。

また、独身男女の出会いの場となる「シングルズカフェ秋田」の開設や、妊娠期から子育て期にわたるさまざまなニーズに対し、総合的支援を提供するワンストップ拠点「秋田市版ネウボラ(※)」の整備なども検討しているところです。

限られた財源で、こうした子ども子育て支援策を実行するに



雄和市民サービスセンターで行った、手漉きはがきと年賀状貼り絵教室で

は、既存事業の見直しや優先順位を付けるなどして、やりくりしていく必要があります。将来の世代のために予算を重点的に配分していくことについて、幅広い世代のみなさんからご理解をいただく必要があると考えています。

※ネウボラ=フィンランドの子育て支援拠点のこと。



河辺保育所で



ヨロシクね

ストップ人口減少 元氣と豊かさを次世代に

子どもは社会の
大事な「宝」

子どもは、「家族にとつての宝」であると同時に「天からの授かりもの」ともいうように、社会全体でも育てていくべき存在でもあります。

私が市長就任後、市政運営の基本方針として策定した総合計画の基本理念は、「ともにつくりともに生きる 人・まち・くらし」です。

来年度スタートする秋田市の次期総合計画でも、この基本理念を引き継ぎつつ、副題として「ストップ人口減少 元氣と豊かさを次世代に」を掲げることとし、子どもたちの笑顔があふれる秋田市を、次の世代に引き継ぐことに全力で取り組みたいと考えています。

子どもを生み育てやすい社会の実現のために、ぜひとも、市民のみならず、皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。

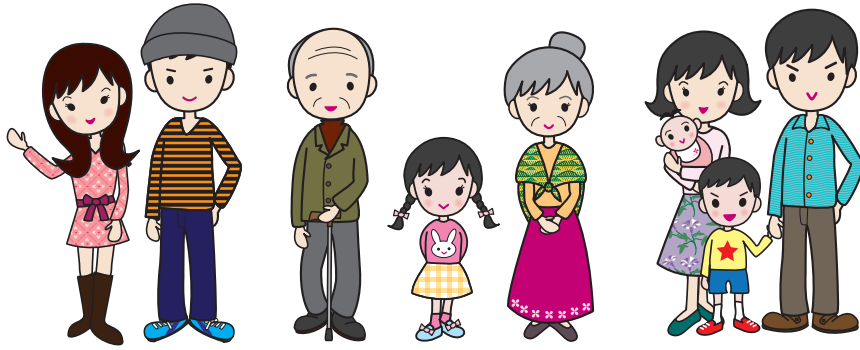


手乗りでお食事♪ コモンマーモセット

◆申年幕開けの明るい話題を紹介しましょう。昨年暮れ、大森山動物園にいる世界最小の猿の仲間、コモンマーモセットに双子の赤ちゃんが誕生しました。母「もも」、父「イツキ」がこれまでに育てた子どもは18頭で、日本の動物園の中でも大変珍しい大家族だそうです。

この幸せの要因には、2頭が若くして「夫婦」になったことや、動物園での安定した暮らしがあったこと、そして家族みんなの子育てサポートがあったことなどがあってさうです。子どもを育てること、命をつなぐことの基本は人間と同じなのかもしれませんね。

それではみなさん、本年もどうぞよろしく願いいたします。



秋田市で!

希望をかなえる みんなのまちづくり

人口減少対策を柱とする秋田市総合戦略を策定しています

市では現在、人口減少の抑制と地方創生の実現をめざし、「秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しています。

これまで、有識者からな

る「秋田市総合計画・地方創生懇話会などで審議が行われ、原案を作成しました。この中で、5つの基本目標

の1番目に、「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」を掲げ、人口減少対策を重点的に推進することとしています。

検討中の取り組みの一部をご紹介します。

秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標(案)

- ①若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ②安定した雇用を創出する
- ③秋田市への新しいひとの流れをつくる
- ④高齢者が健康でいきいきと暮らせるまちづくりを進める
- ⑤持続可能な地域をつくり、安全安心な暮らしを守る



◆第2子保育料無償化

子育てにかかる経済的な負担が少子化の一因になっていることから、一定の所得制限(※)のもと、平成28年4月2日以降に生まれる第2子の保育料を無償化することで、子育て世帯の経済的負担の軽減と子育て環境の向上を図ります。

※世帯年収が、保育所などへの入所は約640万円未満、幼稚園は約680万円以下。

◆秋田市版「ネウボラ」

「ネウボラ」とは、フィンランドの子育て支援拠点のこと。それを参考に、妊娠期から子育て期にわたるまでのさまざまなニーズに対して、総合的な支援を提供する「ワンストップ拠点」を作り、子育て世代の安心感を確保します。

◆シングルズカフェ秋田

若者の結婚しない理由として、出会いの少なさが多くあげられていることから、20歳代〜30歳代の独身男女を対象とした「シングルズカフェ秋田」を開

設し、若い男女の出会いの場を提供します。

◆「アンダー35」正社員化促進事業

若い世代が結婚し、子どもを生み育てていくためには、安定した雇用と一定の所得が必要です。

そのため、35歳未満の非正規雇用者を正社員に転換した企業に対して、1人あたり年20万円の助成金を3年間交付し、正社員化を促進することで雇用の拡大と地元定着につなげます。

この原案は、さらに市民のみなさんの意見を反映させながら、今後、2月の市議会定例会に示した上で、今年度中の策定をめざしています。

「秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」(原案)は、企画調整課ホームページでご覧いただけます。

<http://www.city.akita.jp/>

akita.jp/city/pl/mn/

問▶☎(0800)20002

■秋田市役所新庁舎概要

敷地面積▶約25,850㎡

延べ面積▶約31,000㎡

構造▶鉄筋コンクリート造(免震構造)

階数▶地上6階、地下1階

高さ▶約30m

市民サービスの新たな拠点、誕生！

いよいよ5月オープン！
次世代へ引き継がれる庁舎をめざして

秋田市役所の新庁舎建設工事は、平成25年12月の着工から2年が経過し、工事も順調に進み、秋田杉を外部に活かした秋田らしさ漂う新庁舎が、いよいよ姿を現してきました。

新庁舎開庁は5月6日(金)の予定。窓口の分散が解消され、市民サービスの向上が図られるほか、交流スペースや防災拠点機能などを備えた、市民に親しまれる安全・安心な庁舎が、この春誕生します。

現在の庁舎と議場棟は、昭和39年10月の竣工から50年近く経過して建物の老朽化が進み、同時に耐震診断により地震への安全性の不備が指摘されました。市では、これらの状況を踏まえ、平成22年6月に新庁舎建設を決定し、庁舎の建て替えを進めてきました。

平成21年度▶耐震診断
平成22年度▶建設基本構想策定
平成23・24年度▶基本設計・実施設計
平成25・28年度▶新庁舎建設工事

西側から見た新庁舎完成予定図



新庁舎5つの基本コンセプト

- ▶市民に親しまれ、市民サービスの向上を実現する、人にやさしい庁舎
- ▶防災拠点となる、市民に安全・安心な庁舎
- ▶環境共生へ取り組む、地球にやさしい庁舎
- ▶秋田の地域性を生かし、周辺環境と調和した庁舎
- ▶今ある資産を活用し、長く使い続けられる庁舎

次のページへつづく



新庁舎にはこんな特徴が！

サービスの向上を実現する庁舎

新庁舎は、1階中央部分に複数の用件を1か所で行うことができる「総合窓口」を設置します。

また、子どもや福祉、税関係の窓口を1階と2階に集約し、市民が利用しやすい庁舎になります。

市民に親しまれる庁舎

2階と3階に、市民の地域活動の拠点となる中央市民サービスセンターを併設し、市民が利用できる多目的ホールや和・洋室、子育て交流ひろばなどを設置します。

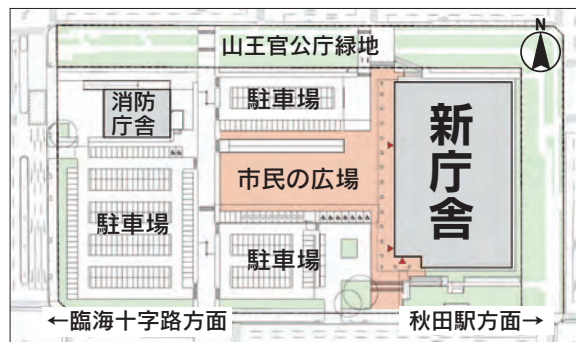
環境に配慮した庁舎

「環境立市あきた」の実現に向けて、太陽光や地中熱などの再生可能エネルギーを積極的に導入するほか、「自然採光」「自然通風」を取り入れ、庁舎内の消費エネルギーの削減と効率化に努めます。



*庁舎南側の屋上面(上の写真の白丸部分)などに太陽光パネルを設置します。

新庁舎配置図



市民の広場…敷地の中心である現庁舎跡地を市民の広場として、市民の憩いの場や各種イベント会場として活用します。

緑に囲まれた庁舎…敷地北側と東側の山王官公庁緑地に加え、南側と西側に新たな緑地帯を整備し、敷地全体を緑で囲みます。外構工事は4月上旬から開始する予定です。

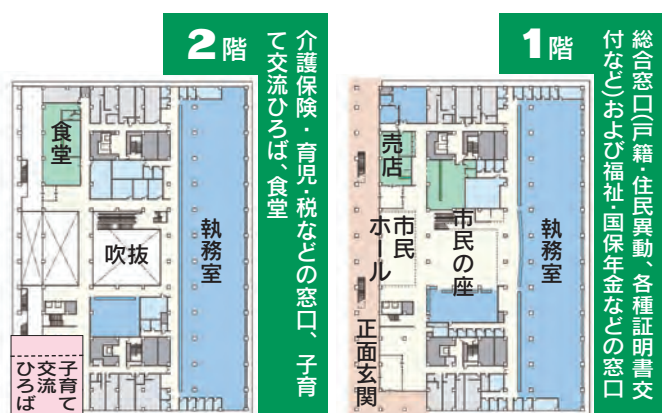
秋田杉の庇(ひさし)…日差しを調整する深い庇を設けます。秋田杉を使うことで、秋田らしいデザインに。



防災拠点となる庁舎…屋上の鉄塔(右)は防災無線用です。また、万一の津波・浸水に備え、主要な機械室、電気室を上層階に設置します。電気や水などのライフラインが断絶しても、庁舎機能を数日間維持できる備蓄(非常用発電機、給排水設備)を計画しています。



新庁舎平面図



市民の座(1階)…市民の待ち合わせスペース。天井の吹き抜けが開放的な空間です。



市民ホール(1階)…行政情報の発信スペースとしてだけでなく、臨時の窓口業務の拡張スペースとして活用します。



子育て交流ひろば(2階)…すでに各市民サービスセンター内にある子育て交流ひろばを新庁舎内にも設置します。就学前のお子さんと保護者が自由に遊べるスペースです♪





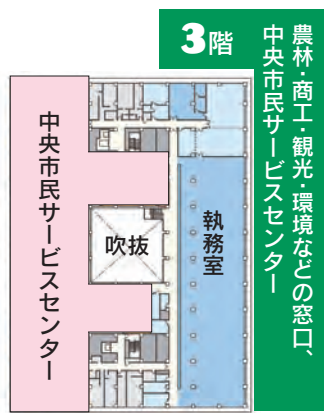
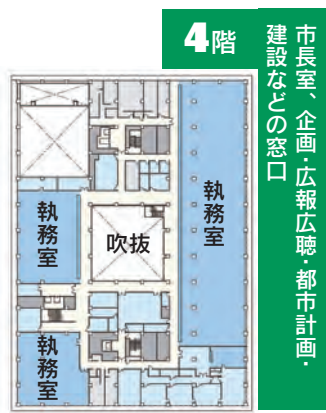
安全第一！完成に向けて、力を合わせて頑張ります！！

新庁舎建設工事は、「清水・千代田・シブヤ・田村建設工事共同企業体」が行っています。地元作業員を中心に、現在、約420人のみなさんが現場で働いています！

今後のスケジュール

- 4月下旬▶新庁舎建設工事完成
- 4〜5月▶備品搬入、移転作業
- 5月6日▶新庁舎が開庁
- 6月上旬▶現庁舎の解体工事、外構工事、分館の改修工事を開始
- 平成29年12月▶外構工事完成

完成までラストスパート！
 新庁舎建設工事は、4月下旬に完成します。現庁舎からの移転は5月の大型連休に行い、新庁舎での業務開始は5月6日(金)からの予定です。
 引き続き、市役所へ来庁の際はご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いします。



議場(5階)…床の高低差をできる限り少なくするなど、誰もが利用しやすいユニバーサルデザインに配慮し、市民に開かれた議場にします。

中央市民サービスセンター(2・3階)…地域活動の拠点となる中央市民サービスセンターの愛称は「センターズ」です。秋田市の中心を意味する「センター」と、私たちを意味する「us(アス)」を組み合わせたもので、市民一人ひとりが気軽に利用でき、明るく温もりのある場所になってほしいという願いが込められています。多目的ホール、和・洋室、調理室、音楽室などは3階に設置します。



◆新庁舎には、現在建物が別棟の教育委員会、農林部、環境部、道路維持課のほか、市役所分館・山王別館で執務を行う課所室を集約します。

謹賀新年

市 副 市 副 市 副
 長 長 長 長 長 長
 市 市 市 市 市 市
 議 議 議 議 議 議
 員 員 員 員 員 員

今年もよろしく
 お願いいたします

石井 謙 石井 謙 石井 謙 石井 謙 石井 謙 石井 謙 石井 謙 石井 謙 石井 謙 石井 謙
 田井 宏 田井 宏 田井 宏 田井 宏 田井 宏 田井 宏 田井 宏 田井 宏 田井 宏 田井 宏
 積 正 積 正 積 正 積 正 積 正 積 正 積 正 積 正 積 正 積 正 積 正 積 正
 周 正 周 正 周 正 周 正 周 正 周 正 周 正 周 正 周 正 周 正 周 正 周 正
 志 悦 志 悦 志 悦 志 悦 志 悦 志 悦 志 悦 志 悦 志 悦 志 悦 志 悦 志 悦 志 悦
 宏 博 宏 博 宏 博 宏 博 宏 博 宏 博 宏 博 宏 博 宏 博 宏 博 宏 博 宏 博 宏 博
 隆 博 隆 博 隆 博 隆 博 隆 博 隆 博 隆 博 隆 博 隆 博 隆 博 隆 博 隆 博 隆 博
 正 博 正 博 正 博 正 博 正 博 正 博 正 博 正 博 正 博 正 博 正 博 正 博 正 博
 信 博 信 博 信 博 信 博 信 博 信 博 信 博 信 博 信 博 信 博 信 博 信 博 信 博
 誠 博 誠 博 誠 博 誠 博 誠 博 誠 博 誠 博 誠 博 誠 博 誠 博 誠 博 誠 博 誠 博
 伸 博 伸 博 伸 博 伸 博 伸 博 伸 博 伸 博 伸 博 伸 博 伸 博 伸 博 伸 博 伸 博
 新 博 新 博 新 博 新 博 新 博 新 博 新 博 新 博 新 博 新 博 新 博 新 博 新 博
 孝 博 孝 博 孝 博 孝 博 孝 博 孝 博 孝 博 孝 博 孝 博 孝 博 孝 博 孝 博 孝 博
 万 博 万 博 万 博 万 博 万 博 万 博 万 博 万 博 万 博 万 博 万 博 万 博 万 博
 里 博 里 博 里 博 里 博 里 博 里 博 里 博 里 博 里 博 里 博 里 博 里 博 里 博
 雅 博 雅 博 雅 博 雅 博 雅 博 雅 博 雅 博 雅 博 雅 博 雅 博 雅 博 雅 博 雅 博
 一 博 一 博 一 博 一 博 一 博 一 博 一 博 一 博 一 博 一 博 一 博 一 博 一 博
 宏 博 宏 博 宏 博 宏 博 宏 博 宏 博 宏 博 宏 博 宏 博 宏 博 宏 博 宏 博 宏 博
 純 博 純 博 純 博 純 博 純 博 純 博 純 博 純 博 純 博 純 博 純 博 純 博 純 博
 芳 博 芳 博 芳 博 芳 博 芳 博 芳 博 芳 博 芳 博 芳 博 芳 博 芳 博 芳 博 芳 博
 巧 博 巧 博 巧 博 巧 博 巧 博 巧 博 巧 博 巧 博 巧 博 巧 博 巧 博 巧 博 巧 博
 哲 博 哲 博 哲 博 哲 博 哲 博 哲 博 哲 博 哲 博 哲 博 哲 博 哲 博 哲 博 哲 博
 重 博 重 博 重 博 重 博 重 博 重 博 重 博 重 博 重 博 重 博 重 博 重 博 重 博
 琢 博 琢 博 琢 博 琢 博 琢 博 琢 博 琢 博 琢 博 琢 博 琢 博 琢 博 琢 博 琢 博
 政 博 政 博 政 博 政 博 政 博 政 博 政 博 政 博 政 博 政 博 政 博 政 博 政 博
 一 博 一 博 一 博 一 博 一 博 一 博 一 博 一 博 一 博 一 博 一 博 一 博 一 博
 敦 博 敦 博 敦 博 敦 博 敦 博 敦 博 敦 博 敦 博 敦 博 敦 博 敦 博 敦 博 敦 博
 良 博 良 博 良 博 良 博 良 博 良 博 良 博 良 博 良 博 良 博 良 博 良 博 良 博
 清 博 清 博 清 博 清 博 清 博 清 博 清 博 清 博 清 博 清 博 清 博 清 博 清 博
 美 博 美 博 美 博 美 博 美 博 美 博 美 博 美 博 美 博 美 博 美 博 美 博 美 博
 誠 博 誠 博 誠 博 誠 博 誠 博 誠 博 誠 博 誠 博 誠 博 誠 博 誠 博 誠 博 誠 博
 雄 博 雄 博 雄 博 雄 博 雄 博 雄 博 雄 博 雄 博 雄 博 雄 博 雄 博 雄 博 雄 博
 善 博 善 博 善 博 善 博 善 博 善 博 善 博 善 博 善 博 善 博 善 博 善 博 善 博
 四 博 四 博 四 博 四 博 四 博 四 博 四 博 四 博 四 博 四 博 四 博 四 博 四 博
 修 博 修 博 修 博 修 博 修 博 修 博 修 博 修 博 修 博 修 博 修 博 修 博 修 博
 喜 博 喜 博 喜 博 喜 博 喜 博 喜 博 喜 博 喜 博 喜 博 喜 博 喜 博 喜 博 喜 博
 美 博 美 博 美 博 美 博 美 博 美 博 美 博 美 博 美 博 美 博 美 博 美 博 美 博
 光 博 光 博 光 博 光 博 光 博 光 博 光 博 光 博 光 博 光 博 光 博 光 博 光 博
 一 博 一 博 一 博 一 博 一 博 一 博 一 博 一 博 一 博 一 博 一 博 一 博 一 博



あなたのふるさと納税で
秋田市が活性化します！

秋田市では、ふるさと納税していただいたかたにポイントを発行する「ポイント制カタログギフト事業」を行っています。

寄附額(10,000円以上)に応じて発行されるポイントで、カタログから秋田市の特産品を選ぶことができます。秋田市の活性化のために、ぜひご協力ください！

問い合わせ(年末年始を除く平日)

企画調整課 ☎018(866)2032 [ふるさと納税 秋田市](#) 検索

* 寄附額に応じて一定額が、個人住民税・所得税から控除されます。詳しくはお問い合わせください。

■ 謝礼品について ▶ JTБ西日本ふるさと納税センター
☎0570-002-631(10:00~17:00)
ホームページ <http://furu-po.com/akita>



伏伸(ふのし)の滝



ゴー! ハピネット